



第210号

発行 埼玉県神社庁
 さいたま市大宮区高鼻町1-407
 電話048(643)3542
 編集 庁報室
 印刷 株式会社アサヒコミュニケーションズ

目次

英国王室と日本の皇室.....	2
平成二十六年度教化研修会報告.....	4
初任神職研修.....	7
雅楽普及研修会.....	7
平成二十六年度総代研修会.....	8
祭祀舞研修会.....	8
平成二十六年度埼玉県神社庁神職総会報告.....	9
埼玉県神道青年会禊錬成研修会報告.....	10
『わたしの我が家の神だな物語』ストーリー募集 について.....	10
庁務日誌抄.....	11
新年互礼会開催のお知らせ.....	11
神社実務研修会開催のお知らせ.....	11
杜の味めぐり(十一).....	12



埼玉県神社庁神職総会 9月24日

英国王室と日本の皇室

石井 美樹子

二〇一三年夏、世界中が、ダイアナ妃の忘れ形見ウイリアム皇太子と、キャサリン妃のあいだに初めての子供が生まれるという吉報に沸いた。キャサリン妃が出産を終えて退院する日、ロンドンの病院前に、黒いランドローバーが到着した。中からウイリアム王子が現れた。ワイシャツの袖口をまくり上げた軽装。しばらくして、赤児を抱くキャサリン妃をエスコートしながら、病院の玄関に姿を見せた。王子は子供を抱きしめ、報道陣に披露した。それから、母子を車に乗せ、運転席に座り、車を発車させた。出産を終えた妻を迎える庶民の夫と少しも変わらない姿に、シャッターを切る音がひときり響いた。

ダイアナ妃が事故死したとき、当時のイギリス首相トニー・ブレアは「人びとの心の王妃」と讃えて、哀悼の意を表した。精神的に国家を統合する核でありながら、政治の外に置かれ、社会福祉に貢献する存在としてのイギリス王室。それは、長い歴史によって培われたものである。統治権を持たない人びとの王室だったが故に、ヨーロッパの王室が次々に消えてゆく中、二つの世界大戦を生きぬび、国民に熱狂的に愛されているのである。

一〇六六年に、フランスのノルマンディ公

爵ウイリアムに征服されて成立したイギリス王室。一千年の歴史は、王権と、王権を弱めようとする力のせめぎ合いの歴史でもあった。それは、一二一五年に、ジョン王が大憲章に署名したことから始まった。ジョン王は愚行から、フランスにあるイギリス領土のほとんどを失った。有力貴族たちが結集し、大権を振り回すジョン王に対し、王権の大幅な削減を迫った。この大憲章が、今なお、イギリスで用いられている唯一の憲法である。それから、寵臣を重んじすぎて、大幅な王権の削減を迫られたエドワード二世。一三二一年に、エドワード二世も大権の大幅削減を謳う条例(Ordinances of 1311)に署名させられた。

十六世紀のエリザベス一世は、父の絶対君主ヘンリー八世を見習いながらも、議会と閣僚を重んじた。一六四九年に、王権神授説を振り回すチャールズ一世は、議会によって処刑された。一六六〇年に、議会は、フランスに亡命していたチャールズ一世の息子チャールズ(二世)及びジェームズを呼び戻し、王位に据える。十八世紀に、アン女王が、後継者を遺さずに亡くなると、議会は、王室の遠い親戚にあたるドイツのハノーバーからジョージ(ジョージ一世)を招き、王位に就けた。

英語を全く話さない王は、「政治はそなたたちに任せる」と言って、しばしばハノーバーに帰った。そのおかげで、立憲君主制が一気に加速する。ジョージ一世から数えて五代目のヴィクトリア女王の場合は、主君のアルバート公爵が亡くなったあと、十年近くもスコットランドのバルモラル城で喪に服しても、政治に支障はきたさなかった。

昭和天皇が、皇太子時代に帝王教育の一環で読まれたのが、ジョージ五世の伝記である。ジョージ五世は、ヴィクトリア女王の孫にあたる。父のエドワード七世が、女性と浮き名を流したのとは正反対に、清廉潔白で、古切手の収集を唯一の趣味とし、愛人をもたず、妃のメアリーを大事にし、王室は理想の家族像の模範となった。第一次世界大戦中は、ジョージ五世と王妃は、戦地を訪問し、兵士たちを励ました。

第一次世界大戦から三年後の大正十年(一九二二)三月、皇太子がヨーロッパ外遊の旅に出られた。大戦で日本は、連合国の一員としてイギリスに協力して、ドイツ権益を手にした。カリスマ性のあつた明治天皇が崩御され、病弱であられた大正天皇の時代になつていたが、皇太子には、新時代の君主として、新しいイメージが求められていた。大戦を乗り越えたヨーロッパ各地で、政財界関係者や、特に英国王室との交流を通じて、将来の新しい君主像を学んでいたきたいとの

意図から生まれた外遊であった。

大戦の終焉と同時に、ヨーロッパの古い伝統を誇る王室が消えていた。ドイツ、オーストリア・ハンガリーのハプスブルグ王室、ホーエンツォレルン家。ロシアではロマノフ王朝が倒され、共産主義国家ソビエトが誕生した。揺るぎなかったのは、ジョージ五世のイギリス王室だけであった。

五月十八日に、皇太子一行は、電車でケンブリッジを訪れた。ケンブリッジ大学には、オレイター (Orator = 演説者) という珍しい役職がある。このときに、ケンブリッジのセント・ジョンズ・カレッジの研究員 (フェロー) の T・R・グラヴァーが演説した。聴衆には、各種の有名人が含まれ、その中に六人の首相、二人の王様、一人の神様 (God) がいたと記録されている。この「一人の神様」こそ、皇太子にはかならない。十九歳の若い皇太子が、神的なカリスマ性を発散させ、畏怖の念を醸しだしていたとは考えにくい。グラヴァーは皇太子を「神」と理解したのである。「神」から「象徴天皇」まで長い苦難の道が待っていた。

皇太子の一行が、バッキンガム宮殿に滞在中、ジョージ五世が吊りズボンにシャツ姿で、ふらりと皇太子の部屋を訪れ、慈父のように親しく接し、一時間も歓談した。日本ではおよそ考えられないことであった。皇太子は、イギリス王室の同年代の人たちとも交わり、

議会や工場なども見学し、マンチェスターでは労働争議も目にされた。

帰国後の皇太子は、常に洋服を着用し、執務室には机と椅子を置き、寝室にはカーベットを敷き、ベッドで休むという西洋風の生活様式を取り入れ、古い女官制度を改めたり、側室制度を廃止したり、皇室改革に努められた。

天皇になられた後の昭和四十七年 (一九七〇) に、昭和天皇は初めての外遊を振り返り、「ジョージ五世陛下と親しくお会いし、イギリスの政治について直接知ることができて参考になった」。また、昭和四十五年には、「それまでの生活はカゴの鳥のような生活でしたが、外国に行つて自由を味わうことができました」と語られた。「カゴの鳥」は、昭和天皇の名言の一つにもなった。昭和天皇は、イギリスの立憲君主制が、生涯の考えの根本であるとも語っておられる。マッカーサーが君臨するアメリカ占領本部を訪れた天皇の姿に、国民は驚愕すると同時に、敗戦国の悲哀を味わった。主権は天皇から国民に委譲された。天皇は「神」から「象徴天皇」となられ、天皇は若き日の理想を実現されたのである。戦後の昭和天皇は、神秘的な存在でありながら、国民と共にあるという、相矛盾するお姿を立派に示された。

以後、皇室は政治に関わらないところで、社会・文化的統合の象徴として生きる存在となった。阪神淡路大震災のとき、東日本大震

災のとき、天皇后両陛下が被災地を訪れ、床にひざまずき被災者に寄り添う姿は国民の心にくつきりと刻まれている。社会・政治システムは時勢によって変化するが、国民の悲しみ・喜びに寄りそう慈悲深き存在には永遠の愛がある。

昭和天皇が若き日に、長い歴史の中で培われたイギリスの立憲君主制に感銘を受けたのは、日本国民にとっても幸せだったと言わなければならぬ。世界の王室のほとんどが姿を消した中、洋の東西で遠く離れて存在しながら、英国王室と日本の皇室は、激動の歴史を生きのび、国民の心の支えとなっている。

(注1) 小山騰『破天荒〈明治留学生〉列伝』講談社、八六頁、二六六頁。

(注2) 波多野勝『皇太子ヨーロッパ外遊記』草思社、一九九八年、七―八九頁。

筆者略歴

津田塾大学院文学研究科博士課程修了後、英国ケンブリッジ大学大学院英文科で中世英文学を専攻。ケンブリッジ東洋学部専任講師、静岡大学教授、神奈川大学教授を経て、現在、神奈川大学名誉教授。著書に『エリザベス 華麗なる孤独』(中央公論新社)、『マリー・アントワネット王妃』(河出書房新社) ションで世界を変えた女』(河出書房新社) など多数。

平成二十六年度教化研修会報告

新井能成

平成二十六年度教化研修会を九月十・十一日に三峯神社を会場に、六十四名の参加を頂き開催致しました。

今期のテーマ『氏神・産土信仰と家庭祭祀の教化』に沿い、今年度の教化研修部の目標を「環境保全への貢献」としました。

鎮守の杜がもつ役割は、そこに生きる人々にとって精神的な象徴であり、誇りであり、財産でした。よって、先人たちは鎮守の杜の存在に、畏敬の念を以て協力しながら守ってきました。しかし、現在では、個人の権利を前面に出して、様々な苦情を神社に申し入れる人が増えています。

今回の研修会は、こうした苦情に対して対応するのでなく、地域住民と手を取り合って共存する策を参加者全員で模索していこうと企画しました。

研修では自然環境や法律の専門家を講師にお招きし、今後、本県でも予想される動植物被害における対策やクレームへの備えとして、神社関係者が、地域の人々の為に如何に意識を持って行動すべきなのか、講義や企画体験などを交えた内容と致しました。

当日は、古谷益朗埼玉県農林総合研究セン



ター鳥獣害防除担当部長により『鎮守の杜で暮らす動物と対策について』、今宮神社宮司でもある塩谷崇之弁護士により『鎮守の杜をめぐる法律問題・実務上の留意点』と題して、御講演を頂きました。

先ず、古谷先生には、鎮守の杜を始めとする山の動物達が、何故人里に出没し始めたの



かという所からお話を伺いました。

その理由としては、食べ物があり、身を隠す安全な場所がある。この二つの条件がそろった場合に出没するとのことでした。また、被害が減らない理由として、存在の否定、誤った情報・誤った認識・誤った対策があり、これらを「鳥獣害ヒューマンエラー」と称しています。現在、各地で捕獲処理を行っています。現在、各地で捕獲処理を行っています。現在、各地で捕獲処理を行っています。

人々が暮らす小さな範囲には無意識な餌が沢山揃っています。例えば農地に廃棄された野菜、果物、廃農地や市民農園の野菜や果物などがあります。その他、安全な住処として



遊休農地・伐採木置場・神社仏閣があるそうです。これらの対策を考えていかないと、捕獲だけでは減る事は無いとの事でした。

併せて、ハクビシンなどの動物の行動実験動画も拝見させて頂きましたが、いずれも人間の考えている能力を遥かに超えている事がわかり、相当な手段をとっても無意味である事が分かりました。鎮守の社と共に生活を送る私達にとって、氏子も含めた形で、対策を考えていかなければならない問題だとつくづく思いました。

次に塩谷先生には、鎮守の社に関わる法律のお話を伺いました。



法的規制や対応に分かれるそうです。それらの法律を踏まえた上で、今日、何故、杜が減ってしまったているのかとの話を頂きました。

その理由としては、近隣からの苦情による伐採依頼が一番の理由で、私ども神主は、言われた通りに事を進めていて良いのかとの疑問を頂きました。法律的に、樹木は土地の一部と考え、枝の越境については、所有者に伐採を依頼することが出来、また根の越境については隣人の判断で切る事が出来るとの事でした。なお、落葉については枝からの落下物





と考え、枝と同様の判断が出来るとの事でした。日照被害とも併せて、現在では隣人による権利濫用が蔓延し、過剰ともいえる苦情が多くあり、法律的には社会受忍限度（一般常識の範囲内）を超えたかどうかで判断しているとの事でした。

杜の保全に向けた活動として私たちが出来る事は、日常の保護・管理や氏子崇敬者への教化活動、注連縄を張り、祭祀を行い、杜の樹木は「ただの樹木では無い」というアピールを行う事の必要性などを挙げて頂きました。お話を伺い、少しでも法律を理解し、時には理論武装できる神主になる事も必要だ



と、考えさせられました。

講演後には、各班に分かれ、班別会議を行う前に、沢山の発言を頂けるよう、アイスブレイクと称し、班内お互いの心を開く為のゲーム（地球環境カードゲーム マイアース）を楽しんで頂きました。

本番の班別会議は、テーマとして『架空神社に於いて動植物を発生源とした諸問題への対策案』とし、研修部の見本資料を参考に、班内で仮想した神社における企画内容を、発表用に自由なレイアウトで報告書としてまとめていただきました。



二日目は、報告書を用いて班毎に発表を行い、上記に対する賛否の意見を、参加者全員に記入頂きました。集計した資料は、後日参加者に配布させて頂きました。

各社にて様々な問題が起きた時に、もう一度問い直し、如何に良い方向に対処していくか、この体験を通じて参加者各自のトレーニングになれば幸いと思ひ、提案致しました。

以上、環境保全をテーマに行った結果、専門的な手法、情報の色が強く出ってしまった内容でしたが、鎮守の杜でのトラブルに、少しでも対応する手段となれば幸いです。

(教化研修部班長)

初任神職研修

高橋 信和

平成二十六年度の初任神職研修が、八月四日から六日まで長瀨町の寶登山神社（中山高明宮司）を会場に開催されました。

本年は県内の初任神職十七名が、受講しました。正式参拝の後、開講式を行い、その後、

初日の講義が始まりました。十四名の講師により、「本庁史」、「神社実務」、「神職奉務心得」、「神道行法（鎮魂・禊）」、「神宮に関する講義」、「祝詞」、「祭式」等の講義が、行われました。二日目の早朝には、荒川に移動して恒例の禊を行いました。

最終日、祭式の実技指導を受けた後、閉講式に臨み、三日間の研修を終えました。

さらに受講生は、八月二十七日に東松山市の箭弓稲荷神社（澤田昌生宮司）で開催された祭式研修会も引き続き受講し、本研修の全日程を終え、全員が無事に修了することができました。

初任修了者名（名簿順・敬称略）

- 石井 哲朗
- 白石真由夏
- 鯨井 嘉典
- 椀田 優
- 伊藤理津子
- 利男
- 瀧島 翔平
- 岩大路賢迅
- 東 胤昭
- 大島 克夫
- 内ヶ嶋一彦
- 茂木 一姫
- 赤尾実奈子
- 倉林 吾礼
- 倉片 彩
- 大坪 洋平
- 須長 雅紀

4	3	2	1	日数 月/日 (曜) 時
8/27 (水)	8/6 (水)	8/5 (火)	8/4 (月)	5:00
箭弓稲荷神社	寶登山神社	寶登山神社	寶登山神社	6:00
	起床・洗面	起床・洗面		7:00
	朝 拝	朝 拝 神道行法 (持田・朝日)		8:00
	朝 食	朝 食		9:00
受 付 正式参拝・開講式	祝 詞 (中山主任講師)	神職奉務心得 (岡本)	受 付 正式参拝 開講式	10:00
祭 式 (作法)	神社実務 (前原)	神職奉務心得 (大澤)	本 庁 史 (山田)	11:00
昼 食	昼 食	昼 食	昼 食	12:00
祭 式 (行事)	祭 式 (高梨・千島直 竹本・原)	神職奉務心得 (山中)	本 庁 史 (新井)	1:00
		神宮に関する 講 義 (高橋)	本 庁 史 (新井)	2:00
閉 講 式	閉 講 式	神宮に関する 講 義 (高橋)	神社実務 (武田)	3:00
		夕 食	夕 食	4:00
		神職奉務心得 (武田)	神 社 実 務 (武田)	5:00
		夕 拝	夕 食	6:00
		入浴・就寝	入浴・就寝	7:00
			入浴・就寝	8:00
			入浴・就寝	9:00



雅楽普及研修会

高橋 信和

去る九月二日、東松山市の箭弓稲荷神社（澤田昌生宮司）を会場に、平成二十六年度雅楽普及研修会が開催されました。残暑の厳しい中、県内各地から神職、一般の方あわせて二十二名が受講しました。

正式参拝の後、開講式が行われ、その後、笙、箏、龍笛の管ごとに分かれて、各講師から丁寧に指導が行われました。昼食後も引き続き管別に研修が続きました。午後三時頃から講生一堂に会して、「平調音取」、「越殿楽」、「五常楽」、「陪臚」を演奏し、本日の研修の成果を確認しました。その後、閉講式が行われ、一日間の研修を終了しました。

本研修会は、初心者も受講しており、雅楽普及の一助になっていることを改めて実感しました。（神社庁主事補）



平成二十六年年度総代研修会

土屋 一彦

埼玉県神社総代会主催による平成二十六年
度総代研修会が、八月二十二日、北足立支部
当番により、さいたま市大宮区の「清水園」
において開催され、各支部より総勢二百八名
の神社役員・総代・神職が参加しました。

開会の辞・神宮遙拝・国歌斉唱・敬神生活
の綱領唱和に続き、大野光政神社総代会会長、
中山高嶺庁長から挨拶がありました。

研修会では、まず、武田淳神社庁主事補に
より「神社と総代 護持運営について」と題
した講演が行われました。神道とは何か、神
社本庁・神社庁・各神社との関係、宗教法入
法の特徴、総代とは、自治会との関わり方、

神社の危機管理等現代における神社を取り巻
く環境、あるいは総代の任務と役割等の説明
がなされました。

次に、「戒いの力」という題目で、神社庁
教化委員会事業部員により講演が行われまし
た。

祭典行事の「修祓」を取り上げ、祓詞や祓
いの解説、作法の実演等が行われました。

懇親会では、地元の橋本昭司北足立郡市総
代会会長・石井孝一同副会長の挨拶、次年度
開催地区の帯津永太郎入間郡市総代会会長の
挨拶に続き、野口荘二神社総代会副会長の乾
杯の発声により開宴となり、和やかに会が進
み、鈴木邦房北足立支部長の中締めによりお
開きとなりました。

(北足立支部事務局長)

祭祀舞研修会

嶋田 土彦

平成二十六年九月十八日、寶登山神社を会
場に、神道婦人会主催による、祭祀舞研修会
が開催されました。

正式参拝の後、開講式を行い、受講生二十
五名は朝日舞(江森茂代祭祀舞講師)と豊栄
舞(大澤真弓祭祀舞講師補)に部屋を分け、
午前中の研修に励みました。初めて参加する
方も多くおりましたので、講師先生が動作の
一つ一つを丁寧にご指導下さり、受講生も
各々質問をし、熱心に取り組んでおりました。

午後の研修は、朝日舞と豊栄舞の受講生が
同じ部屋に集まり、合同練習を行い、お互い
の練習の成果を発表致しました。

最後に、朝日舞より男性神職代表者三名、
豊栄舞より女性神職代表者四名が選ばれ、初
心者・経験者が一緒になり、ご神前の静寂の
中、緊張の面持ちで舞を奉納致しました。

閉講式で、今後
も大勢の方々を受
講頂けるよう、舞
の普及指導を行っ
ていきますので、
継続してご参加願
いたい、という講
師先生の言葉で、
研修会が終了致し
ました。

(庁報編集委員)



平成二十六年 埼玉県神社庁神職総会報告

高橋 寛 司

去る九月二十四日、入間支部当番により、川越氷川神社川越会館を会場に県内神職参加のもと、平成二十六年度埼玉県神社庁神職総会が開催されました。

開会式では、澤田利光入間支部副支部長の開会の辞に続き、神宮遙拝・国歌斉唱ののち、宮本剛義入間支部神道青年会長による敬神生活の綱領唱和があり、中山高嶺庁長の挨拶、大野光政埼玉県神社氏子総代連合会長の来賓挨拶、来賓としてお招きした各支部総代会長の紹介がありました。

総会では、梅田久詞入間支部長が議長を務め、先ず、恒例の新任神職十八名の紹介が行われ、庁長から新任代表に記念品が授与されました。次に、前原利雄神社庁参事より神社庁の業務報告がなされ、続いて、教化委員会・関係団体事業報告では、教化委員会（高麗文康委員長）・神道青年会（嶋田久仁彦会長）・神道婦人会（竹本多恵子会長）・教育関係神職協議会（小柴清会長）より、現在の活動状況や今年度の予定などが発表され、総会を終了しました。

総会後の講義では、「神道と日本人 魂とここらの源を探して」と題して、作家でジャーナリストでもある山村明義氏より講演が行われました。山村氏は、約三年半



魂と



にわたり、日本全国で二百人以上の神社神職へのインタビューを行い、今回の講演の同タイトルの著書を始め、神道に関する著作も多数あります。山村氏は、ジャーナリストとして活動する中で感じられた現代の日本における、グローバル化や戦後の占領政策の矛盾に對して、神道の普遍性や独自性、神道における魂や心の考え方は、これからの日本だけでなく、世界においても通用するものであり、この神道的価値観を自信を持って世界に打ち

出すべきである、と述べられました。閉会式では、先ず、次年度当番支部の島野弘克比企支部長から、来年の総会への参加が呼びかけられました。次いで、武本宣比古入間支部副支部長による閉会の辞で、総会を終了しました。閉会後の懇親会は、梅田久詞入間支部長の開会の挨拶、帯津永太郎入間郡市総代会長の乾杯により始まりました。歓談の最中には、新任神職が登壇し、各自から抱負などが述べられました。懇親会の最後には、竹本佳徳副庁長の締めにより、全日程を盛会裡に終了しました。

(庁報編集委員)

埼玉県神道青年会禊鍊成研修会報告

大澤 宣彦

平成二十六年九月四日・五日、寶登山神社を会場として、神道青年会第三十四回禊鍊成研修会を開催した。当日は、嶋田久仁彦会長以下二十四名が参加した。

講演の部では、井上智勝埼玉大学教養学部教授を講師としてお招きし、『吉田神道宗家吉田家と埼玉の神社』と題し、ご講演をいただいた。

井上先生は、宗教や宗教者という切り口から、近世の日本・東アジアの社会・文化について研究をされており、江戸時代の神職を統括した吉田家と各地の神社、神職の関係を主なテーマとされている。

先生ははじめに、神祇管領長上という朝廷における吉田家の立場を説明した上で、吉田家から発給された、神社の神事や神職の装束に関する諸事を許可した「神道裁許状」、神社の祭神に位階や称号を承認または許可した「宗源宣旨・宗源祝詞」を紹介し、武蔵国、特に埼玉県域への発給数が、突出して多いことを述べられた。

また、江戸時代における吉田家と地方神社

との関係を形成することは、徳川將軍執政下における地方と朝廷との関係を形成することであり、多くの神社が朝廷との関係を求めたことを述べ、結びとされた。

禊・鎮魂の部では、持田長武・朝日則安埼玉県神社庁神道行法鍊成行事道彦にご指導をいただき、荒川を禊場として初日夕刻と、二日目早朝の二回行った。

九月上旬とはいえ、数日前まで降り続いた雨により水量の増した冷たい荒川での禊は、じつに清々しく、気持ちよく心身の浄化を行うことが出来た。

また、寶登山神社のご神前で浄闇の中行われた鎮魂は、時間の経過とともに精神が研ぎ澄まされていくのが感じられた。

今回の研修会では、心身の浄化と魂の安定を図り、自己への深い内省を促す神道行法のすばらしさを実感するとともに、自己研鑽に励む機会として、また、会員相互の懇親を深める場として、実りある研修となった。

(埼玉県神道青年会研修部部长)



『わたしの我が家の神だな物語』ストーリー募集について

原 泰明

教化事業部原班では、昨年神棚や氏神様にまつわる物語を神職から集めてフェイスブックページ『感謝と祈りのある風景』を立ち上げました。今回、ここに掲載する物語を一般募集することに致しました。

『わたしの我が家の神だな物語』ストーリー大募集とし、神棚を設置したきっかけや神棚と家族の心温まるストーリー等を、神棚の写真と共に募集します。

募集期間は本年十一月一日から来年二月二十八日の四か月間とし、毎月十作品を選定します。更に、応募者全員にお札立てをプレゼントし、入選者には、御朱印帳をお送り致します。尚、御朱印帳については県内別表神社九社よりご提供頂きました。

十月よりポスター掲示、チラシ配布を県内神社に依頼するとともに、神社庁ホームページやフェイスブックページでの告知、懸賞サイトへの投稿等を行っております。

神棚は、多くの場合、家の中の奥まった部屋に祀られている事が多く、我々神職でも中々目に触れる機会が少ないのが現状で、一般の方が参考にしたくても、他の家庭の神棚を見る機会が極めて少ないと思われまます。神棚と共に生きている人たちの気持ちや、奉斎の方法を示す今回の企画が、少しでも神棚普及につながる事を願っています。

県内神職の皆様には、是非、趣旨にご賛同頂き、ポスター掲示等のご協力をお願い致します。(教化事業部原班)

杜の味めぐり (十一)

ホワイト餃子はながさ

住所 日高市高萩二三〇六一九
電話 〇四二一九八五一一一五〇

営業時間 午前十一時から午後十時三十分
加藤牧場パッフィ日高本店

住所 日高市旭ヶ丘五七二
電話 〇四二九一八四一四一四
営業時間 午前十時から午後五時

今回は、日高市に鎮座している高麗神社の高麗文康宮司と共に神社周辺のお店に行ってきました。

まずは、平成二十八年に高麗郡建郡千三百年を迎えることから、高麗神社や市内の事業者で構成される「高麗郡、S」によって考案された「高麗鍋」を紹介します。高麗鍋とは、キムチ味、地場産野菜、高麗人参の使用が条件とされ、市内の十四店舗で味わうことができますが、その中でも第十回の「埼玉B級ご当地グルメ王決定戦」で優勝した「ホワイト餃子」はながさ「さ」を取材しました。注文したのは、「餃子入りパイタン高麗鍋」。スープの中には大きな目の白



湯用のはながさオリジナル餃子、チャーシュー、長ネギなどが入っていて、キムチが添えられています。豆乳入りの鶏がらをじっくりと煮込んだスープは、白く光り輝いています。さつそくスープを一口飲んでみると、想像とは裏腹にキムチの風味と、程よい塩気と、どちらかという口の中に優しい甘みが広がり、出汁の旨味が凝縮されています。

また、自慢の焼餃子は、たっぷりの油で揚げ焼きされた皮はカリッと中はジュシーで、癖になる味わいです。チェーン店といっても独自に食材を調達して



おり、自家製の餡には三十六種類の具材が使用され、豚肉は、地元サイボクハムのDLG国際品質競技会金メダル受賞したゴールデンポークを使用し、ニンニクを使用せず、健康志向で高麗人参をスパイスに、日高生昆布も加えています。バランスよく身体に優しい食べ物としてこだわり抜いています。ここのお店では、餃子とラーメンを親子が別々に修行を重ね、それぞれの得意分野を活かし、時にはコラボレーションしてお客様の人気を集めているようです。



次に伺ったお店は「加藤牧場パッフィ日高本店」です。取材の日は、気温三十度近くまで上がり暑い日だったので、牧場の濃厚アイスを食べました。バナナは、搾りたての牛乳をノンホモ(脂肪を砕かない)低温殺菌で作っているのので、コクがあり深みのある味と甘さ控えめで、口の中に馴染んでいくような感覚です。ストロベリーは、イチゴジャムとクッキーが混ざっていて、イチゴの酸味とバナナアイスとの程よい甘みが絶妙です。クッキーのサクッとした感触も一口を楽しませてくれる演出です。



店内では、自家製の乳製品の販売や自家製チーズを使った丼やピッツアなどの軽食も味わえます。乳搾りやチーズづくりなどの体験(有料)や七月下旬から九月初旬には、お店の裏に広がる飼料用のトウモロコシ畑を利用した迷路も作られ、たくさんの子供たちでにぎわいます。牛舎は牛を繋ぎずに自由に歩き回れるように飼育され、のどかな雰囲気の手落ち着く牧場です。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。(庁報編集室 小林 充)